

新潟県

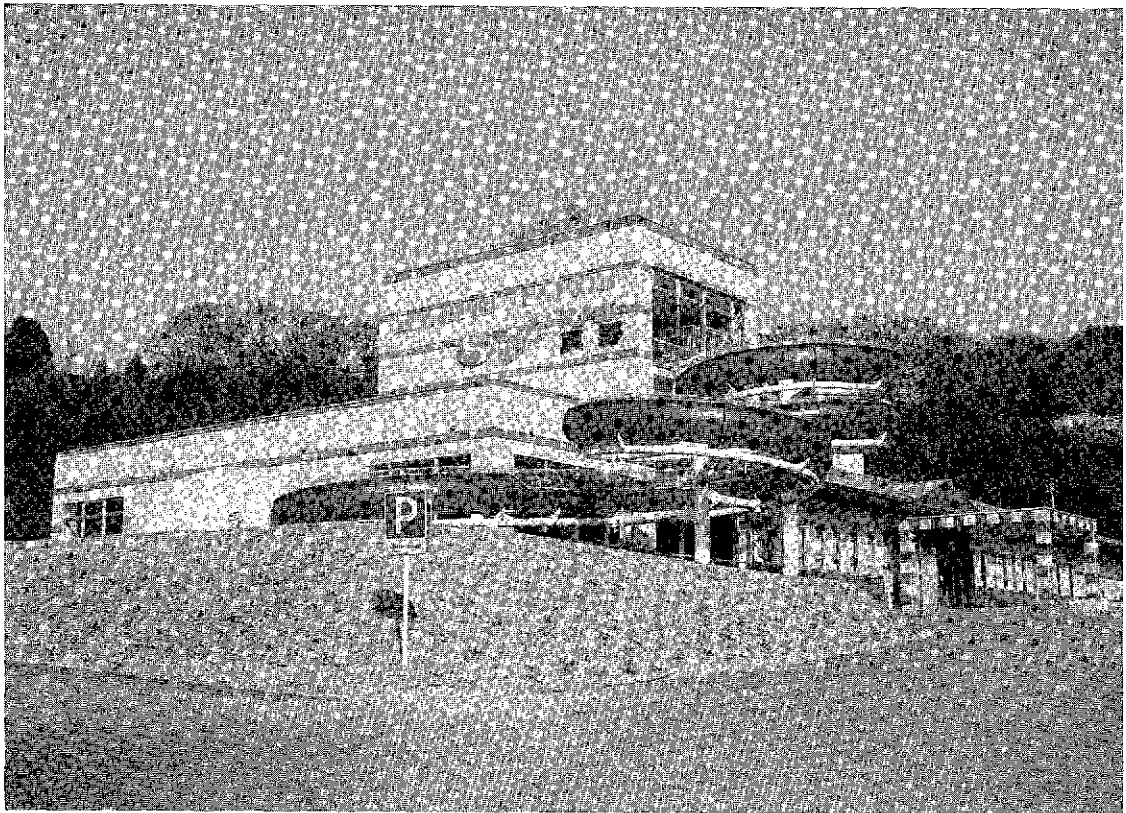
平成6年

# 公民館月報

6月

第496号

## 特集 地区公民館における広報活動



ゆとりぴあ真野

水と遊んで、いい汗かいて、  
気分はフレッシュ！  
スツキリヘルシー！

真野温泉「ゆとりぴあ真野」は真野宮・真野公園・真野川などと隣接して水と光と緑に恵まれた施設。

(資料・写真提供)

真野町公民館

### 関ブロ公民館研究大会に参加を!

## 主題 現代的課題に応える公民館の役割

会場 厚木市文化会館  
期日 平成六年八月二五日(休)～二六日(金)

去る五月二十七日(金)～二十八日にかけて、関東甲信越静公民館連絡協議会理事総会が開催された。会場は、厚木シテイプラザで、一日目は平成五年度事業報告、平成六年度事業(案)、予算(案)を審議して「第35回関東甲信越静公民館研究大会の実施について」の基調提案、全国公民館研究集会等について討議されて終了した。

二日目は、全体会場となる厚木市文化会館の施設を詳細に視察した。  
多数の出席を期待している。

助言者 笠原 誠氏  
(前小学校長)

司会者 高橋文子氏  
(新潟県中央公民館囑託)

基調発表者 柏原路子氏  
(弥彦村前社会指導員)

なお、当県の会長細川仁氏が

が参加する。

### 会長就任の挨拶

## 「どうぞご支援を」

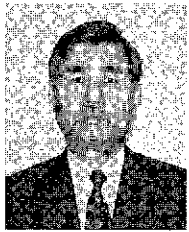
会長 細川 仁

本年四月一日付けで新潟市中央公民館長に就任、四月二十五日の平成六年度第一回評議員会で県公連会長に選任されました。その責任の重さを痛感しているところであります。

してきた公民館も、新しい時代に対応した方々が問われているといわれています。

長い間  
社会教育  
の中心的  
施設として  
その役割を果た

また、新潟県公民館連合会として今年度の重点目標として「本会運営上の体質強化策の検討」が加えられたところであり、これらにどう取り組むか、微力ながら全力を尽くしてまいります。これらにご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



長い間  
社会教育  
の中心的  
施設として  
その役割を果た

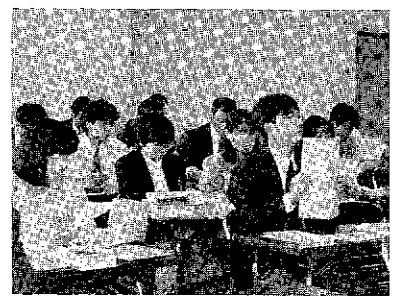
また、新潟県公民館連合会として今年度の重点目標として「本会運営上の体質強化策の検討」が加えられたところであり、これらにどう取り組むか、微力ながら全力を尽くしてまいります。これらにご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### 県生涯学習推進センター主催

## 生涯学習指導者研修会開催

去る五月十七日から十九日にかけて、県生涯学習推進センター主催の「生涯学習指導者研修会」が、県青少年研修センターを会場に開催された。

市町村の社会教育・公民館等



研修会風景

去る五月十七日から十九日にかけて、県生涯学習推進センター主催の「生涯学習指導者研修会」が、県青少年研修センターを会場に開催された。

生涯学習推進に関する職員の内任者(主として経験一年未満)を対象に計画されたもので、九月六日(火)に開催される後期研修へつながる。このたびの参加者は五十名であった。  
大部分の参加者が新任ばかりであったが、意欲的な雰囲気であった。「何を、どこから、どう始めたらよいか分からない」という研修生が多いということを担当者から聞いたが、十九日の午後の最終課程の「公民館の管理と運営」では、前県公民館連合会事務局長上村捨二郎氏の講話は、「公民館をめぐる社会の変化」その私的年表」(創設期から充実、変革期までの変遷と

### 平成6年度 新潟県公民館連合会基本方針・重点目標・事業計画

**基本方針**  
新しい時代の公民館の在り方として、「住民に身近な学習施設として、多様な高度な学習機会の開発に努めるとともに、自主的な学習活動の積極的な援助を図っていくことが必要である」といわれています。したがって、今後一層重要になるのは、学習情報の提供や相談機能を充実し、地域の生涯学習に関する情報活動の拠点としての役割を果たすこととであります。

また、公民館の整備については、「個々の公民館の機能充実だけでなく、中央公民館を含め役割分担を考慮するなど、当該市町村における公民館が全体として地域住民に対し、均質的、文化的サービスの提供ができるよう、体制を整えていくこと」(公民館の整備・運営の在り方について)が求められています。

よって、(1) 多様な学習機会、方法の開発に関する工夫  
(2) 地域住民に対する均質的教育的・文化的サービスの提供の方策  
(3) これらのための公民館施設設備や職員体制の整備充実  
(4) 本会運営上の体質強化策の検討

を重点目標として、次の重点事業を進めます。

- 重点事業**
1. <情報の提供と交換>  
多様な学習機会の開発に関する情報の相互提供・交換により、公民館事業の活性化に資する。  
(1) 「新潟県公民館月報」の紙面の刷新充実  
(2) 地区公連ならびに、郡市公連との情報交換の密接化  
(3) 関連行政機関・団体との連携強化
  2. <研修の充実と参加>  
公民館長・職員専門的知識技能の修得のため、研修機会の充実ならびに研修への積極的参加により資質の向上に努める。  
(1) 県生涯学習推進センター主催の社会教育主事等職員研修ならびに共催の公民館長等管理者研修への積極的参加  
(2) 第45回新潟県公民館大会の開催  
(3) 上・中・下越地区公連の研修事業の共催
  3. <財源の確保>  
本会の健全な運営の維持、一貫した機能発揮のため、安定した財源確保に努める。  
(1) 新潟県市長会・町村会及び新潟県当局の理解と援助を要請していく。  
(2) 一層の自助努力を重ねるため、本会運営上の体質強化策樹立のため検討委員会を設置

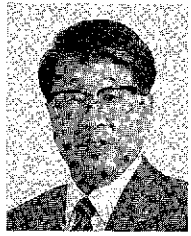
平成6年度第一回評議員会の報告。会の基本方針(P2)と役員表(P3)と地域課題・公民館の課題(問題)を提示し、資料で分かりやすい説明であった。後期に参加するときは、地域の課題をたくさん抱えて、専門職として、専門職として、意識をさらに高めて来てくれるように期待している。

平成6年度 新潟県公民館連合会役員名簿

平成6年5月25日現在

郡市名	役職名	氏名	所属公民館
下越地区	会長 副会長 理事 監事	細川 仁雄	新潟市中央
		渡辺 幸泰	新潟市中央
		本 敏夫	新潟市中央
		鈴木 武夫	新潟市中央
		田中 隆博	新潟市中央
		加藤 和夫	新潟市中央
		藤部 実	新潟市中央
		山本 晴喜	新潟市中央
		仲木 謙	新潟市中央
		荒木 久保田	新潟市中央
中越地区	副会長 理事 監事	小林 秀夫	新潟市中央
		千原 昭昌	新潟市中央
		羽鳥 隆夫	新潟市中央
		中山 忠敏	新潟市中央
		宮沢 直夫	新潟市中央
		大野 直吾	新潟市中央
		佐野 井正	新潟市中央
		小坂 正美	新潟市中央
		滝 政勝	新潟市中央
		富 増之	新潟市中央
上越地区	副会長 理事 監事	山口 和良	上越市中央
		山川 資雄	上越市中央
		瀬戸 秀昭	上越市中央
		山本 秀三	上越市中央
		六川 一	上越市中央
		塚田	上越市中央
		越川 井城	上越市中央
		魚 城	上越市中央
		新 城	上越市中央
		東 城	上越市中央

# 視 点



公民館が年間の行事をテレビ画面に打ちこんでおき、住民は分館やその他公供の施設に

昭和57年、県の社会教育課にいたとき、テレビ画面での広報を考えたことがあった。

置いてある子機でそれを見るのである。これにはもうひとつアイデアがあり、近隣の町村の公民館の行事も見ることができ、気に入れば参加もでき

## 情報化時代と公民館

笠原 誠

る、というシステムであった。

いわば公民館事業の市町村相互乗り入れである。こうすれば主催者側は人集めに苦勞し

なくてよいし、利用者側もさまざまな講座に参加できる。

とりあえず南蒲原郡と三条の五市町村を、実験地区A、佐渡の十市町村を実験地区Bと

して案を作った。

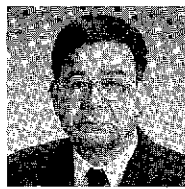
業者も現れ、文部省の社会教育局も応援するといってくれた。

しかし残念なことに

(前小学校長)

## 生涯学習と学校教育

神主 和男



学校教育は生涯学習の重要な役割を持っている。

人々が生涯にわたって学習を続けていくための基礎を培うことが不可欠であり、生涯にわたる学習を行うのに必要な基本的な能力と自ら学ぶ意欲・態度を養うことである。

## ひ ろ ば

特に小学校、中学校においては、生涯にわたって学習を続けるための基礎的、基本的な学力を身につけさせることである。ゆとりある学校生活を通じて創造性を伸ばし、自立的に自ら学ぶ力、自己の学習目標を成

就できるたくましい生き方を育てることであり、自他を尊重し合える広い心、自然を愛し美しいものに感動できる豊かな心を育てることである。また判断力を育て日常生活をより充実したものにしなければならぬ。

一斉授業の中で個を理解し、個性を伸ばす指導や世界の国々の文化、日本の文化を尊重し国

際理解を深める指導等、基本的な学力と生活態度を育てることが望まれる。

開かれた学校として、地域住民に開校することは、単に施設の使用のみでなく、スポーツを通じて校区の人々のコミュニケーションをはかり、地域団体の講演会、講習会は学習の場として学校を利用するだけでなく、その機会を得て学校教育について理解を求めることができる。また日曜参観日等の設定は、保護者、特に父親達に児童生徒の学校生活や学校教育について啓発をはかることができる。PTA活動はもとより地域各種団体による行事は、学校との連携のもとに、青少年の健全育成を目標にした学習の場と言える。

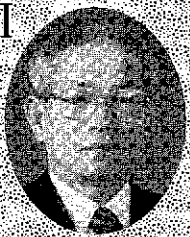
家庭教育学級も児童生徒の発達段階に応じた学習内容を大切に、学校教育について理解を深めさせ、家庭教育についての学習を深める場である。

このことが、家庭の教育力、地域の教育力を高めるのである。(同津市公民館運営審議会委員)

# の公民館ガイド III 広報活動

方式

徳 間 助 夫 氏



徳間氏

はじめに  
生涯学習の時代を迎え、公民館は地域における生涯学習の中心的な施設と言われているが、男女共働き時代とあって集合学習や集会活動が年々難しくなり、また学級や講座の受講生の固定化等も課題となっている。このような現状をふまえて、住民の自発的な生涯学習への意欲と、コミュニケーション意識を高めるために、公民館における広報活動の重要性があらためて認識されてきている。

公民館における広報活動を推進するための課題と、地区公民館におけるさまざまな実践事例を紹介して参考に供したい。

## 広報活動

### 推進するための課題

まず基本的な課題として次の課題があげられる。

(1) 広報活動のとりえ方  
公民館における広報活動を広報紙による活動のみでなく、日常展示や展覧会等によるものや、住民のロコミによる広報など、もっと幅広く総合的にとらえねばならぬところに第一の課題がある。

### (2) 広報活動の性格

公民館における広報活動は、企画および実施の過程において教育的な意義が何よりも重視されなければならない。教育的な効果をねらいとする教育広報活動としなければならないところに第二の課題がある。

### (3) 広報活動の役割

公民館活動はあくまでも住民の自発的な学習意欲によって成り立つものであり、住民の自発的な学習意欲をいかにして高めるかこそ公民館活動振興の鍵である。そのための役割を果たさねばならぬところに第三の課題がある。

### (4) 広報活動における住民の位置づけ

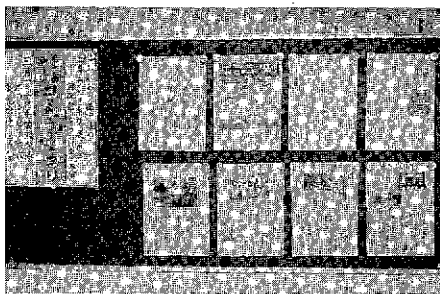
「公民館活動の究極のねらいは住民の自治能力の向上にある。」と言われ、公民館活動の主

体者は住民であると考える。

住民は広報活動における「受け手」であるとともに、主体的な「送り手」でもなければならぬ。広報活動における住民の位置づけを主体的なものとするのが第四の課題である。

次にその他の課題として次の課題をあげたい。

### ① 広報活動推進の人的態勢



館内掲示板の常時展示の事例

公民館における総合的な広報活動を推進するためには、地域における生涯教育態勢とコミュニケーション組織の裏打ちのある人的態勢の整備が課題である。

### ② 広報活動推進の物的条件

広報活動のための印刷用機械器具をはじめ、掲示板、展示用機材、視聴覚教材等の物的条件の整備が課題である。

## 地区公民館における

### 広報活動の実践事例

前段の「広報活動を推進するための課題」をふまえて、西中通公民館におけるさまざまな実践事例を中心に、これからの具体的な実践方策についてともに考えてみたい。

### (1) 広報紙による広報活動

広報活動のひとつとして毎月地区内全世帯(千四百世帯)に配付される広報紙「ひろば」(B四判二頁)がある。

一面は地区内の公民館、コミュニティ、学校、諸団体などの行事等の案内、記録を、そして二面は主として特集頁にしている。

特集のテーマとしては、アンケートなどでまとめられた地域生活課題である「健康な生活」「青少年の育成」「心豊かな生活」「住みよい地域」を四半期(三か月間)ごとの特集テーマとするとともに、「生涯学習」と「ボランティア」を年間に各二回特集テーマとしている。

特集の紙面は、おおむね上部二段を使って問題提起、動機づけの一文を載せ、下四段は特集テーマに対する住民の皆さんのご意見、実践例など(一人十行程度)によって構成することと

している。

生涯学習特集号の「私の生涯学習」で、ある主婦の方は「イワシのヌタ」という題で「私の子どもたちは、おばあちゃんを作ったイワシのヌタが大好きだ。でも私はまだイワシのヌタがうまく作れない。私の当面の生涯学習はイワシのヌタの作り方を、おばあちゃんから教えてもらおうことだ。」との一文を寄せている。このような身近な具体的な実践事例は、地域の皆さんに生涯学習が毎日の生活や人生に役立つ、誰もがができる楽しいものなのだと思いつかせてくれると思うのである。(特集の事例1)

また恒例の「地区コミュニティまつり」で紹介された「ボランティア運動(ボランティアでユートピアをつくらうという運動)」の、一年間の地区内での実践事例の写真などによる「ボランティアふれあい展」を、そのまま広報二面の紙面に特集した「ボランティア特集号」などは、「写真が多くて見やすく、わかりやすい」と住民から好評を博した。(特集の事例2)

昨秋実施した住民百人からのアンケートは次の通りであった。地区広報を毎月読む 63名。地区広報を時々読む 24名。「特に二面の特集に期待する」

特集の事例1 生涯学習特集号



# 新任職員のため 地区公民館における

## 住民参加の特集

柏崎市西中通  
公民館長

(2) 日常展示による広報活動  
館内掲示板による広報活動。館内掲示板にも館内掲示板があるが、ただだいたのポスターを貼るだけでなく、計画的、継続的な常時展示による広報活動の貴重なスペースとして活用したいものである。

私たちは毎月発行される広報紙の掲示とともに、それに掲載された事業等の記録写真を、B四判のラシヤ紙の台紙(写真貼付場所の枠と、見出しおよび解説文を書き込む野を印刷したもの)に、カラー写真二判一枚か、サービスピ判二枚組を貼付し、見出しと解説文を書き込み広報

紙とともに掲示している。ちなみに前頁に掲載された「館内掲示板の常時展示の事例」の写真的左側のポスターは、恒例の「地区コミュニティまつり」と「地区ボランティアのつどい」のポスターであるが、このポスターは日頃公民館を利用している「書道研究会」会員のボランティアによるもので、地区内各集落公会堂にも掲示され、地区における年間最大のイベント行事を盛り上げている。

(3) 展覧会等による広報活動  
前期の(2)日常展示による広報活動で紹介した写真の掲示物は、展示後は裏面に整理カード

を附し上部枠外に綴穴をつけて綴じ込んで保管をし、恒例の「地区コミュニティまつり」の展覧会で、一年間の活動記録写真と広報特集号等による展覧会を実施しているが、きわめて好評をいただいている。ファイルに整理されているこれらの活動記録写真の三年分か五年分を一挙に展示する「五年のあゆみ展」なども実施してみたいと思っている。

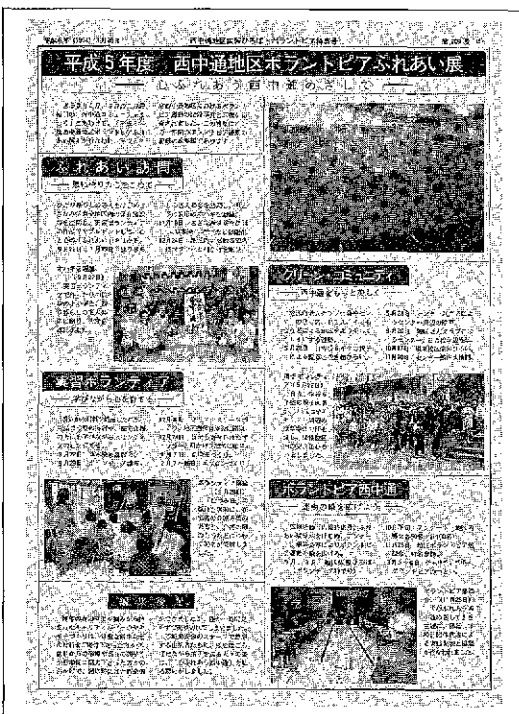
広報紙に掲載された事業の記録写真を、それだけで終らせずに日常展示物として館内掲示するとともに年間活動記録写真の総集編としての展覧会にも、そしてさらに「五年、十年のあゆみ展」にも活用できるのである。

(4) ポスター、チラシ等による広報活動  
定期刊行物としての広報紙のほかに、単発事業を知らせるポスター、チラシ等による広報活動があるが、ささやかな実践を通して言えることは、ポスターにしてもチラシにしても、ユニークなレイアウトのスタイルを継続して使用することによって、住民に親しまれるものとする事ができるようである。

この場合、見出し、呼びかけの言葉が勝負どころとなるが、住民の生活の中での本音をクローズアップした見出しが、きわめて効果的なのである。

(5) その他広報活動  
行政広報の利用は行政内部へのアピールのためにも、もっと積極的に利用されねばならない。またマスコミを利用するためには、もっと積極的な情報や資料提供の努力が必要である。

特集の事例2 ボランティア特集号



むすび  
おわりに元全国広報研究会常務理事・樋上亮一先生の言葉を紹介してこの稿を閉じたい。  
広報(PR)とは、よいことをすることが90%であって、これについて語るの10%でよいのだ。ところが世の多くの人は、広報とはラッパを吹くことだと感違いをしている。



# 不正改造車を排除する運動

六月二日〜七月三十一日

## 実践事例

### アメニティタウン寺泊を!

#### 寺泊町の分館活動

寺泊町は人口約一万三千、歴史的に古く、すばれた文化遺産、名蹟に恵まれ、年間三百万人を超える訪客で賑う観光の町である。一方、生涯学習の推進体制整備が進んでいることで関係機関等の注目を浴びており、「町民一人一テーマ一学習一事業」＝フォーワンシステムをモットーに、町民憲章の具現化として「アメニティタウン寺泊」の町づくりを目指している。この生涯学習の基本方針を具体的に実践する現場として、現在二つの公民館と五つの分館が拠点となっている。

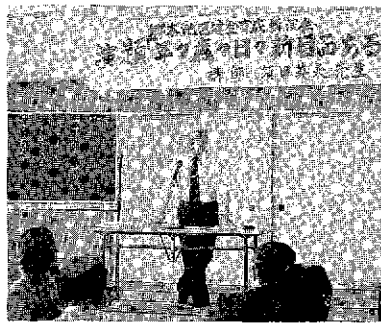
一、分館の位置付けと概要  
寺泊町公民館条例から、分館は夏戸、本山、野積、山ノ脇各小学校内に設置され(他に旧郷本小学校区は保育所内に設置、地域から分館長を任命)、条例上は寺泊町、大津津両公民館と同一に位置づけられ、いずれの公民館の分館なのか明確になっていない。

#### 二、分館活動の運営

四館の分館長にはそれぞれの小学校長が任命され各校区の分館活動の中核となっている。校長は当然ながら地域の信頼が厚



夏戸小教頭がすぐれた指導者であることから住民の希望により通年開設。成人男女二十名が第三金曜日の夜、分館を会場に



#### (3) 本山分館

国際交流会  
文化祭に合わせて複数外国人ゲストと親子で交流  
三世代ふれ合い活動  
昔の行事や生活の体験、話し合い

#### (4) 野積分館

探鳥会(野積小は野鳥名鳥の飼育で有名)  
民話民謡の伝承  
蛙の孵化と放流  
文集発行(出稼ぎ者に地域・家族の手紙形式の文集)

なごやかな仲間づくりの副産物も得ながら水彩画を楽しんでいる。  
郷本分館  
ちびっこ公民館  
ゲーム、工作を通してのコミュニケーション  
家庭教育講演会  
講演の後、質疑も活発で真剣そのものの懇談。

#### (5) 山ノ脇分館

環境問題の体験学習会  
牛乳パックの再生体験  
。たなばた、クリスマス行事等  
(6) 各分館共通の活動  
親子ふれ合い学級  
親子共通の活動を通してコミュニケーションを深めると共に親子それぞれに成長することを期待して実践しているもので、各分館とも地域の特性を生かした伝統行事や野外活動、クラフト等多種多様な取組みが進められている。なお、この活動は、分館の設置されていない寺泊、大津津小学校でも公民館とタイアップで実施してもらっている。

#### (6) 各分館共通の活動

親子ふれ合い学級  
親子共通の活動を通してコミュニケーションを深めると共に親子それぞれに成長することを期待して実践しているもので、各分館とも地域の特性を生かした伝統行事や野外活動、クラフト等多種多様な取組みが進められている。なお、この活動は、分館の設置されていない寺泊、大津津小学校でも公民館とタイアップで実施してもらっている。

#### (3) 本山分館

国際交流会  
文化祭に合わせて複数外国人ゲストと親子で交流  
三世代ふれ合い活動  
昔の行事や生活の体験、話し合い

#### (3) 機構上の問題点

前述のように当町は二公民館五分館が条例上同列で中央公民館が未設置で、分館とのつながりが明確でないが実質的には寺泊町公民館が全体の連絡調整に当たっているのが現状である。

#### 四、寺泊町文化センターへの期待

待望の文化センターが平成七年秋に完成する。六百余席の多目的ホール、会議室、研修室、各実習室等完備した三階建て、町民の生涯学習の拠点として多様なニーズに対応できる施設である。中央公民館としての位置付けが可能であり、これを機会に、公民館・分館の機構的な課題を含めて解決できるよう、時間をかけて検討していくことが望まれる。  
(寺泊町公民館長 土田 明)

# サークル交流

### 歌声の和そして心の和を

#### めざして

#### 中里村「コールなかさと」

私達のサークルは、地域のPTAコーラスを母体に平成二年三月に発会しました。指導、伴奏者には近隣の学校教員の方にお願いしています。村の規模の割には混声合唱を実践している事が誇りにもなっています。

主な活動は通年で週一度の練習、春の芸術つくし祭への参加、秋の村芸能祭への参加、そして村内音楽愛好者で構成されるコンサート協会とのデュオコンサートがあります。デュオコンサート

サートは今年四回目を迎え地域に根をおろしつつあるようです。又、今年度より郡市内八団体が参加して、中魚沼合唱交歓会を開くべく準備を進めております。

以上のように各活動が一步步充実してきています。唯一の問題点は会員の減少です。昨年は十日町より賛助出演してもらい、ようやく混声合唱が成立した次第です。カラオケばかりの世の中ですが、コーラスではまた違った歌の楽しさを味わうことができると思うのです。

(コールなかさと 服部 令子)

### 陶芸教室はフル回転

#### しろね陶芸グループ

#### 連絡協議会

白根市中央公民館で開催する陶芸講座で二年間学んだのち、自主グループとして活動しているのが五グループあり、この四月に結成した新グループを加え、現在六グループとなりました。毎週月曜から土曜まで陶芸教室と陶芸窯はフル回転です。

昨年、連携と発展向上を願い、「しろね陶芸グループ連絡協議



会」を結成し、文化祭には展示とチャリティバザーを開催しました。バザーは好評で、次回はもっと技術を磨いて、より良いものを、より喜んでもらえるものにしようとはりきっています。

また、夏休みには私たちが指導者となって、中央公民館主催の親子陶芸教室が開かれます。指導することの大変さが勉強になり、人と人との出会いが、社会の視野を広くしてくれるような気がします。

この四月には、同窓会の還暦記念として湯のみの製作依頼を受け、四苦八苦作陶に取り組んでいる今日この頃です。  
(しろね陶芸グループ 連絡協議会長 成田さゆ子)

### 社会教育課係長 兼 公民館主事 齊藤 百合子 氏

公民館に転任する一年九ヶ月前は、住民福祉課係長として役場の窓口で毎日村民との関わりの中での仕事をしていた。それだけに対人・接客においてはベテランであり、清楚で穏やかな人柄である。今は、標記の職員として、予算執行事務・図書室、婦人学級及び婦人会の事務局として本当に多忙を極めて



いる。さらに学級も婦人会の会議も夜間家事一切背負っての大奮闘中である。公民館でも十年も勤めているかのように村民の皆さんと談笑している。そんなおらかな心と気づけり人が人を引き付けて放さないのかも。とにかく婦人学級も婦人会の運営も順調に軌道に乗せている。これからの季節は登山、冬になればスキー。サークルは大正琴にコーラス。いつも生き生きと活躍している。  
(潟東村公民館長 杉山文明)

### 素顔 拝見

### 中之島町公民館・中野分館長 吉村一夫 氏

中之島町公民館は、本館一つと八分館からなっている。中之島町中野分館はその一つである。こここの分館長が吉村一夫氏である。彼は昭和四十七年から分館活動に参画し、文化部長・総務部長などを経て平成元年度から分館長となり六年目を迎える。



中野地区 敬老会、中野地区運動会などでは、その趣旨にそう暖かい心くばりがある。その他分館活動で支援する各種文化講座やスポーツ大会など、若い分館役員の先頭にたつて英知を結集している。

中之島型分館活動の中で彼の存在は貴重である。集落三百二十三世帯(一、七〇三人)をひきいる彼の人柄には全幅の信頼がよせられている。  
(中之島町公民館長 小坂井昭吾)

生涯学習の真ただ中、大きいことは好いことだとする風潮をうけ、地道な分館活動の輪が豊かに広がることを願っている。

惠贈資料紹介

永々と続く

「やまなみ」短歌集

四十周年記念特集

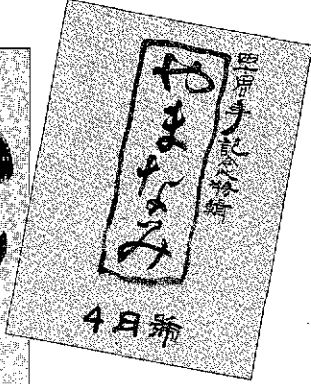
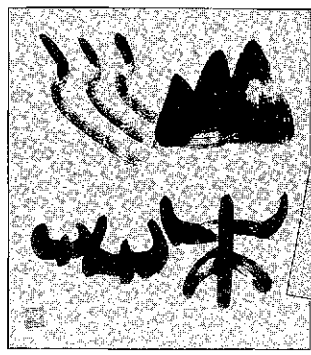
東頸城郡牧村公民館



手づくり歌集「やまなみ」が昭和二十九年から、さまざまな困難をのり超えて、ガリベンずりの

創刊から始まった歌づくり活動が、ついに四十周年記念特集を上梓した。(左写真)

柴田忠文氏の見事な色紙も届



けられた。会員諸氏の成長ぶりと成就感あふれた誌面に、長い歴史のおもかげが伝わってくる。

第4回シニア美術展

作品募集

新潟県長寿社会振興財団では、第4回シニア美術展の作品募集をする。ふるって参加をおすすめする。

募集期間 7月20日

8月20日

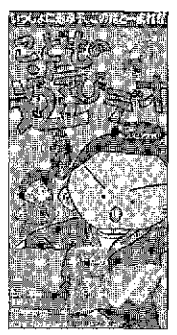
募集作品 絵画、書、写真、彫刻、彫塑、工芸

応募資格 59歳以上のアマチュア

テーマ 自由

詳細問い合わせは、県長寿社会振興財団

☎〇二五二一八五 一四〇〇



子供の遊びをビデオで楽習

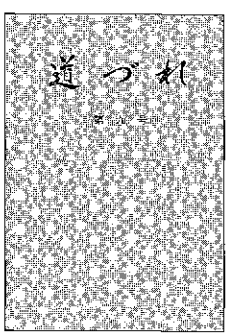
新潟県小学校校長会・新潟県学校視聴覚教育教育連絡協議会推薦の右の写真名のビデオ集が発売される。

公民館での子どものコミュニケーションに活用しやすくできている。問い合わせは左記へ、

時空映像 千九五〇 新潟市鏡3-12-32

☎〇二五(二四三)二六七八

「道づれ」九号



見附市の作文サークル未の会、炎の会、林の会の三の会が、強いきつなに結ばれてこの程「道づれ」を九号まで継続して作品集として発行した。

お問い合わせは、見附市学校町一六二一 松本十三雄へ

続々方言採集

豊かな言語環境づくり

分水町歴史歩会

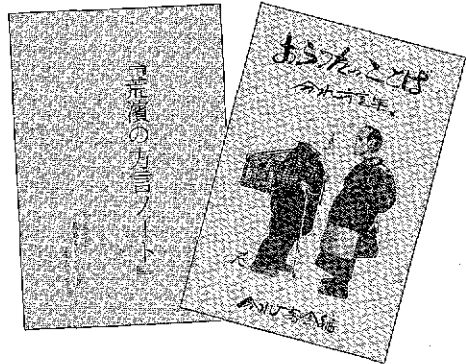
最近、市町村の公民館や地区のグループが独自の方法で、手づくりの方言採集をしている。

この西蒲原部分水町の「おらったことば」柏崎市荒濱公民館の生洋学級編の「荒濱の方言ノート」の労作のご恵与があったので紹介する。

問い合わせは「おらったことば」西蒲原部分水町歴史歩会 (電)〇二五六一九三三三〇八 内田昭一

「荒濱の方言ノート」 柏崎市荒濱公民館

小林真実子 (電)〇二五七二二一三七〇二



あとがき

◆今月号は、特集「新任職員のための公民館ガイドIII」は、知らない人のいない公民館の実践と理論を確立された徳間助夫氏から寄稿していただいた。とくに、公報活動の必要性と課題の把握の必要性を常に力説されていて、ここでは、「地区公民館における広報活動」住民参加方式の提示がある。実践例が提示してあるのでよい参考資料になると思う。氏には失礼だったが、内容を大切にしたいと空欄を十分とったので著者紹介をこの欄ですることを容赦されたい。◆各公民館や社教育関係の実践資料をたくさんご恵与いただき深謝している。できるだけ紹介したが、このたび載せられなかったものもあるが、次号で紹介したい。どうぞ引きつづいてご一報をお願いする。

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 細川 仁

編集人 事務局長 鴨井 三郎  
【定価1部130円 年共・年極1,560円】